

議員紹介 (議席順)



1: 榎本 健治
 鷺殿 (38歳)
 無所属



2: 平野美津子
 鷺殿 (67歳)
 無所属



3: 向井健雅
 井田 (60歳)
 無所属



4: 大前森重
 井田 (65歳)
 無所属



5: 塩野 真
 井田 (43歳)
 無所属



6: 浅田和江
 神内 (43歳)
 無所属



7: 市川 潔
 鷺殿 (67歳)
 無所属



8: 山本精一
 鷺殿 (58歳)
 無所属



9: 萩野進也
 井田 (60歳)
 無所属



10: 原 章三
 大里 (67歳)
 日本共産党



11: 莊司 健
 北松杖 (67歳)
 無所属



12: 的場孝一
 成川 (69歳)
 無所属



13: 西村喜久男
 桐原 (60歳)
 無所属

— 紀宝町議会 —

13人の新体制で動きだす

議員改選後、初めての臨時会が2月17日に開かれました。
 この臨時会で、議員による選挙の結果、議長に西村喜久男議員、副議長に榎本健治議員がそれぞれ選ばれました。常任委員会委員なども選出され、13人の新体制で議会が動き出しました。議員任期は平成27年2月10日から平成31年2月9日までの4年間です。

議長就任のあいさつ



西村 喜久男

町民の皆様には、日頃から町政ならびに、町議会活動に対しまして、ご理解とご支援を頂き、心より感謝申し上げます。
 この度、二月十七日に開催された第一回臨時会において、議長を務めさせていただくことになりました。
 責任の重さを痛感しますとともに、身の引き締まる思いでございます。
 微力ではございますが、議会の果たす役割を十分認識いたしまして、活発で公平・公正かつ円滑な議会運営に努め、皆様方のご期待にお応え出来るように、一生懸命がんばります。
 町民の皆様には今後とも、なお一層のご理解とご支援をいただきますよう、どうかよろしくお願い申し上げます。

議会構成

改選後、2月17日に行われました臨時会では、常任委員会委員や議会運営委員会委員、五つの特別委員会委員、三つの一部事務組合議会議員、紀南介護保険広域連合議会議員が選出されました。また3月に行われました第1回定例会において、一つの特別委員会が廃止され、二つの特別委員会が新たに設置されました。
 各委員等は、次のとおりです。

(委員長、副委員長以下は、議席順)

議長 西村 喜久男 副議長 榎本 健治

■常任委員会 (◎は委員長、○は副委員長)

◆総務産業

◎ 莊司 健 ○ 的場 孝一 平野美津子
 山本 精一 萩野 進也 原 章三
 西村 喜久男

◆教育民生

◎ 市川 潔 ○ 塩野 真 榎本 健治
 平野 美津子 向井 健雅 大前 森重
 浅田 和江

■議会運営委員会 (◎は委員長、○は副委員長)

◎ 向井 健雅 ○ 大前 森重 市川 潔
 的場 孝一

■特別委員会 (◎は委員長、○は副委員長)

◆熊野川流域対策
 ◎ 莊司 健 ○ 山本 精一 榎本 健治
 大前 森重 塩野 真 原 章三
 的場 孝一

◆港湾・井田海岸浸食対策

◎ 大前 森重 ○ 山本 精一 平野美津子
 向井 健雅 塩野 真 萩野 進也
 原 章三

◆環境保全対策

◎ 的場 孝一 ○ 市川 潔 榎本 健治
 平野 美津子 向井 健雅 大前 森重
 浅田 和江

◆災害復興対策

◎ 莊司 健 ○ 的場 孝一 榎本 健治
 平野 美津子 向井 健雅 大前 森重
 塩野 真 浅田 和江 市川 潔
 山本 精一 萩野 進也 原 章三

◆近畿自動車道紀勢線建設

◎ 向井 健雅 ○ 榎本 健治 平野美津子
 大前 森重 塩野 真 浅田 和江
 市川 潔 山本 精一 萩野 進也
 原 章三 莊司 健 的場 孝一

◆地方創生まちづくり

◎ 榎本 健治 ○ 塩野 真 平野美津子
 向井 健雅 大前 森重 浅田 和江
 市川 潔 山本 精一 萩野 進也
 原 章三 莊司 健 的場 孝一

■一部事務組合議会議員

◆東紀州農業共済事務組合

萩野 進也 原 章三

◆紀南環境衛生施設事務組合

榎本 健治 向井 健雅

◆紀南病院組合

浅田 和江 山本 精一 的場孝一
 平野美津子 塩野 真 莊司 健

■紀南介護保険広域連合議会議員

平野美津子 塩野 真 莊司 健

3月定例会 一般質問 (要約)

平成27年第1回紀宝町議会定例会は3月4日に開会しました。第1日目は、初めに、議長報告と各委員会委員長報告があり、続いて、町長から、新年度大綱説明及び各般についての行政報告がありました。その後、教育長の任命、教育委員会委員の任命、条例の一部改正、条例制定、補正予算など17件の議案を原案どおり可決しました。第2日目の16日、第3日の17日には、一般質問が行われ8人の議員が質問に立ち、諸課題について、当局の取り組みと考え方を質しました。第4日目の18日、第5日目の19日には、平成27年度一般会計予算、特別会計予算、補正予算、条例の一部改正、条例の制定、指定管理者の指定、特別委員会設置に関する決議、意見書など40件の議案を原案どおり可決し閉会しました。

ほうでも、この防災についてははされていると思うんですが、いかがお考えですか。

特別参与
防災・減災対策の取り組みについては終わりは無いということ、取り組みをさせていたいております。フォーラムの件ですが、企画するにあたり、今後とも開催時間の検討や、内容も十二分に検討させていただいて、一人でも多くの方に賛同がいただけるフォーラムにしていきたいと思っております。



市川 潔 議員

- ・防災について
- ・道徳教育について
- ・あいさつ運動について

防 災

議員
近いうちに発生する確率が高いといわれている南海トラフを震源とした巨大地震に対してハード・ソフト両面において、備える必要があると思うが、当局の状況は。

総務担当理事
東日本大震災から4年が経過し、この地域におきましても、南海トラフを震源とする巨大地震に対する備えが必要になっております。ハード面としては、防災拠点施設の建設、耐震性貯水槽の設置。配水池への緊急遮断弁の設置。災害

時の緊急車両や工事車両の燃料確保のため、自家用給油施設の整備。住民の避難場所として、防災センターの整備。高台への一時避難場所の確保や避難路の整備などを行っており、ソフト面につきましては、自主防災組織の育成や、学校防災教育の充実に努め、発災時に避難行動がスムーズに行えるよう、MYマッププランの作成などにも取り組んでいただいております。

議員
2月21日の防災フォーラム紀宝。本当に有意義なる防災フォーラムだった

と思うんですが、どの程度の人数が、まなびの郷に入られたんでしょうか。

総務担当理事
約250名となっております。

議員
その前とか、人数の経緯はどういう経緯を示しているんでしょうか。

総務担当理事
第1回目は一昨年、12月に開催させていただいております。そのときも大体250人程度だったと思います。

議員
防災意識の人達を少しでも増やすために特別参与の

防災関係につきましては、人の命が一番の理念を大きく掲げ、ハード・ソフト両防災に取り組んでいただいております。災害時の交通の確保のための道路に対しても、町長のお考えを願います。

町長
南海トラフ等、三連動地震が発生したら、本当に広範囲な、広域な被害、災害が予測されますので代替道路がしっかり確保できる体制づくりが大きな課題だと思っております。高規格道路

道 徳 教 育

の一日も早い完成に向けて、皆様方の力をいただきながら、努力してまいりたいと思っております。

議員
小中学校の道徳教育の状況について教えてください。

教育長
町内の小中学校におきまして、道徳の時間を中心にすべての教育活動において、道徳教育の目標が達成できるように取り組みを進めていきます。今年度は、各学校、各学年におきまして学習指導要領に示されました年間標準時数を上回る道徳の授業が行われており、文部科学省が作成、個人に一冊配布しました道徳教材「私たちの道徳」につきましても、各学校で、また家庭でも活用されているところであります。

議員
道徳教育の評価については、どのような考えでされているのでしょうか。

教育長
道徳は特別な教科として取り扱うことを前提とした審議検討が行われているところです。特別の教科ということになりますと、評価のあり方について大変難しい様相を含んでいると認識しております。

議員
道徳教育を勉強したから、すぐ効果は現れるものかなというところは、私は疑問に感じます。今一度、その辺りも含めてご答弁願います。

教育長
発達段階に応じて、生活体験、あるいは発達年齢に応じて、理解できること、実践できること、これは人それぞれ違ってきますし、道徳教育というのは息の長い取り組みであると、そのように認識しております。

議員
道徳教育の評価については、どのような考えでされているのでしょうか。

あいさつ運動

議員
保育所、幼稚園、学校のあいさつ運動状況についてお尋ねします。

健康福祉担当理事
保育所では、保育時間中は「保育指針」に基づきまして、保育士や友達と共に楽しく生活する中で、あいさつ習慣が身につけられるように努めています。

教育課長
うどの幼稚園は、自ら進んで「あいさつ」や「ありがとう」が言える子に育てたいと願っています。集会時やクラスで具体的に助言指導を行っております。中学校では、集会や朝の会を通して、あいさつ運動を実施しております。

議員
役場に来られた皆さんへのあいさつは。

総務担当理事
役場職員に「接客研修」を実施し、接遇力の向上を図らせていただいております。

議員
町全般のあいさつ運動ということ、山でのあいさつと一緒に、あいさ

つが飛び交う紀宝町であればという思いから、町長ご答弁願います。

町長
人と人との付き合いは、やはりあいさつからだと、最優先に職員に指導し、あ

いさつの飛び交う、議員おっしゃる明るい町づくりに向けて頑張りたいと思っておりますので、今後とも指導よろしくお願い致します。



災害復興対策特別委員会



榎本 健治 議員

- ・地方創生について
- ・学力向上と教育改革について
- ・大綱説明及び諸報告について

地方創生

議員

国は過去最大規模の96・3兆円となる平成27年度予算案を国会に提出されました。先般成立した平成26年度補正予算3・1兆円と一体的に編成され、両者合わせて1兆円を超える額が措置された地方創生関連予算。この予算を積極的に活用して、若者の町内定住や町内の産業の振興、町外からの移住促進等をはかっていかななくてはならない。紀宝

町ではどのように取り組んでいくのか。

企画調整課長

紀宝町では、町内の消費喚起を図っていくために、子育て世代の支援策も盛り込み、2割程度の割増額を付加したプレミアム付商品券の発行について、紀宝町商工会や、町内の商店にご協力をいただく中で実施して参りたい。地方創生先行型は、空き家の有効活用と、町外からの移住促進を三重県と連携して行う空き家リノベーション支援事業や、地元産木材と地元建築業者を利用し、一般住宅を新築する個人へ助成を行う木造住宅建設促進対策事業など、合計11の事業を計画しています。

議員

地域イノベーションの推進が叫ばれているなかで、やる自治体とやらない自治体は、格差がどんどん広がるのではないかと心配している。現在、国、県へ申請している詳細を教えてください。

企画調整課長

経済的理由によって修学が困難な者に対し、紀宝町奨学金を支給する、紀宝町奨学金

学力向上と教育改革

議員

子ども達の放課後のあり方は大きく今変わろうとしています。それは土曜授業が始まって、平日の授業を土曜日に移している。現在、取り組もうとしている放課後学習事業の詳細についてお伺いします。

教育長

平成27年度中に、普段の授業日の放課後に行う補習事業と、長期休業中に行うサマースクール、ウインタースクール等の補習事業を計画しております。授業日の放課後、町内の小学校5校に指導員を派遣して、各学校内の多目的ルーム、図書室等を利用、子ども達に宿題の支援など、週2回程度を予定しております。学力の定着向上あるいは子育て支援として進めていきます。夏休み、冬休み等の長期休業中は、従来のサマースクールを強化する形でまなびの郷を会場として、内容的には同様に開催する予定です。

新宮紀宝道路

議員

熊野川河口大橋を含む一般国道42号新宮紀宝道路について、旧鶴殿村時代の戦前から河口大橋の計画、歴史的背景を改めてお尋ねいたします。

企画調整課長

熊野川河口大橋の建設に関する経過について調べてみますと、古くから熊野川の河口に橋を架ける取り組みを行っており、昭和14年に河口大橋の建設を陳情したことから始まっております。昭和42年には、梶家鶴殿村長が、河口大橋の架橋促進を発表し、翌昭和43年には、鶴殿村議会が、熊野大橋の全面改修と河口付近への第二大橋を架けてほしいという旨の意見書も提出しており、熊野川の河口に架橋を多くの方が望む声が出されていたと聞いております。

議員

昭和14年に河口大橋の建設を陳情して、国は工事に着手していた。しかし、戦争勃発で中断する。着手していた

支給制度。一般住宅を新築する際に、地元材及び地元業者の利用に対し、支援をする木造住宅建設促進対策事業。40歳未満の若者が町内に住宅を新築し、町営浄化槽を設置する場合に、分担金に対して補助する町営浄化槽設置分担金軽減事業。町外から紀宝町への若者の移住・就労を促進するため、図書館を町の知的情報インフラの拠点として位置づける新たなサービスを実施する課題解決型図書館サービス推進事業。次にみかん等柑橘類などの第1次産業が盛んでありますが、新規販路の拡大に向けた取り組みを行い、市場競争力のある柑橘栽培を援助するための第1次産業生産者育成事業。空き家の建物解体に際し、解体費用の一部に対して助成を行う建物解体助成事業。子どもが健康に産まれ育つための成人の歯科健診を促す子育て世代節目年齢歯科健診事業。フッ素塗布券を利用して、歯科受診を促す子育て支援フッ化物歯面塗布推進事業。最後に地域経済を支える中小企業が借り入れる融資の利子の一部を補助する小規模事業者振興利子補給事業

という事実があることから、この河口大橋は、必要であるというふうには私は認識をしております。先人達の縦糸が繋がっている、そのような思いの詰まった河口大橋だと思います。さらに私は必要性が三つあると思います。一つは命の道として必要。そして二つ目は経済、そして地域の交流の道として必要。三つ目は、親孝行の道として、私は必要な道路だと思います。都会へ出て行った子ども、孫がしっかりとこの高規格道路を使って地域へ帰ってこられる、親孝行ができる、そんな河口大橋、高規格道路になって欲しいとの思いがあります。

※この他にクラウドファンディングについて、祝祭日、国旗掲揚の推進について、子育て支援と少子化対策についての質問がありました。

※榎本議員の一般質問については、本人のホームページに掲載しています。

(<http://www.enomotokenji.com/pan.htm>)



地方創生まちづくり特別委員会

を実施したいと考えています。

議員

商品券について、2割のプレミアムですが、私は以前からも申している、誰でもどこのお店でも使える仕組みを作っていたほしい。ガソリンスタンドであったり、八百屋さんであったり、幅広い地方創生の意味でのプレミアム付商品券にしていただきたい。

企画調整課長

案といたしましては、500円券を12枚つづった6千円の商品券を一般の方には5千円で販売していきたい。また子育て世代の生活を応援するためにも、500円券12枚綴り、6千円の商品券を子育て世代に対しましては、4500円で発行していきたいと考えております。議員ご指摘の通りスタンドとか商店とか、使えるようにしていきたいと考えています。

議員

先般、行われた町議会議員選挙では投票率が、前回より6・49ポイント、946人が下回る結果となった。この原因について選挙管理委員会としてどう分析をされているのか。町内においても、高齢化社会が進み、交通手段を持たない人が増え続け、自らの権利を行使できない有権者が増え続けます。今後、投票所の増設、送迎バス対策など、有権者の権利を行使できる環境を整備すべきではないですか。

総務担当理事

紀宝町議会議員選挙の投票率につきましては、今回が7



3・41%、前回は79・90%、平成19年の合併後初の選挙では84・12%で1・663人減少しております。投票率の低下について、その一因は、若者の選挙離れにあると言われております。送迎バスについては検討したいと考えております。

町営住宅建設

議員

若い人たちがめぐる賃金、雇用、住宅、子育てなどの環境がどんどん悪化しています。20代後半、30代でも年収300万円未満のひとが多くなっています。結婚、子育てもできない、そういった中で、他の市町のように、町営住宅の建設、家賃補助制度を行い、若い人たちが安心して子育てができる住環境を提供することが行政の責務であると思いますがいかがですか。

産業基盤整備担当理事

町営住宅建設については民間賃貸住宅等に空き家があるなかで、町営住宅建設となる民間事業者を圧迫すること

も考えられます。また、空き家等を活用した町営住宅につきましても、紀宝町空き家バンク事業が実施される予定もあるのですが、これらの状況を踏まえながら総合的に検討していきたいと考えています。

町長

助成制度については今後、総合的に検討しながら取り組みさせていきたいと思っております。

窓口負担無料化・子どもインフルエンザ助成制度

議員

子ども、障がい者、一人親家庭の窓口無料化については全国的に当たり前となっております、実施していないのは、三重県もふくめ一道9県のみとなっております。三重県の財政力指数は全国で15位になっているのに福祉、医療の分野ではワースト10位になっている。新宮市では既に実施しているのに何故、三重県では実施しないのか。是非実施するよう知事に要望していただきたい。

健康福祉担当理事

県では福祉医療助成制度改革検討会で検討をおこなってきたところですが、医師会や医療機関の協力、財政的な負担も大きくなるなどの課題もあり、実施に至っていないのが状況です。

議員

インフルエンザ予防接種について、子育てしている若い人達にお聞きしたところ、ほとんどの家庭で受診していないとのことでした。その理由は高すぎてとても受けさせられない。このような回答が増えてきました。町内で子育てについて真剣に取り組むならば、せめて今、65歳以上の方におこなっている1000円か1200円で受診できる助成制度をおこなうべきではないか。

町長

今は、お子様や一般の方については任意ということになっています。これからの接種事業についてはどうあるべきか今後検討していく必要があると思います。

特養施設の増設

議員

地域のお年寄りの方を回っても国民年金で入居できる特養が欲しいとの声が聞かれます。三重県では施設は増えていますが、定員数が全国38位と低い水準でこの5年間で入所待ちの間に約7000人が亡くなっています。国民年金の満額は40年掛けて6万4千円ですが、平均的な受給額はそれ以下と考える訳です。安心して老後を暮らせる場所、これをきちんと考えていただきたい。

健康福祉担当理事

熊野飛鳥に出来ました施設は70床です。利用料金はユニット型で要介護五の方で月額6万9千円程度、また多床室では5万3千円程度です。また27年度以降の介護報酬の改定でさらに下がることになりました。施設の整備については第六期計画で具体的に示されたいと思います。

町道相野口永田線の嵩上げ要望

議員

今後の町の考え方について。

産業基盤整備担当理事

相野口永田線の嵩上げ要望につきましては、町道相野口永田線鮎田交差点より約2キロの区間をTP10・7mまで嵩上げする道路整備を鮎田地区からご要望いただいております。現在、相野口永田線において平成17年から交付金事業を活用し、高岡地区から大里地区までの区間約2キロを工事しているところです。

集会所運営

議員

町内各地区の集会所運営については人口減少もあり運営が厳しくなっている状況です。大里多目的集会所では光熱費が年間24万円も要し、行政や社協がいっぱい使っているから補助して欲しいとの地元管理者からの要望もあります。いかがですか。

総務担当理事

各指定管理者さんから運営費の補助要望は今のところお聞きしていません。今後ご意見を十分踏まえて検討させていただきます。



塩野 真 議員

・ウミガメ公園について
・情報モラル教育について

ウミガメ公園

議員

利用者、経営状況等、現状はどのようになっておりますか。

企画調整課長

来場者数は、平成25年度では18万7968人、1日あたり平均514人の方にご来場頂き、今年度は、18万7000人前後で推移すると予想されます。経営状況は、平成25年度、約2億2千万円、一日平均で約60万円の売上がござ

いました。過去5年間、指定管理者の有限会社ウミガメファーズは借入金もなく、自己資金で運営を行っていることから、経営は順調に推移していると考えています。

議員

重点道の駅制度というのはどういふものですか。

企画調整課長

先駆的な取り組みを国が選定し、重点支援を行っていく制度です。本年全国のモデル道の駅として6箇所、重点道の駅として35箇所、重点道の駅候補として49箇所選定され、来年度も募集を行うと聞いております。来年度については申請を行いたいと考えております。

議員

役場として、どのように関わっていますか。

企画調整課長

指定管理者制度ですので、私どもの意見を一方的にはいきません。指定管理者様と十分相談するなかで、観光と物産販売の拠点、ウミガメ保護啓発活動の場として向上するようお互い知恵を絞って取り組みたいと考えております。

議員

教育面での関わりはどうですか。

企画調整課長

保育所や小学校の遠足、学習の場、中学校の職業実習の場として利用していただいています。ウミガメの生態や保護監視員の取り組み等、学習できるパネルの設置や、ウミガメ保護啓発の取り組みについて研修会等を実施するなど、学習の場としても充実できると考えております。

教育課長

自然環境学習の一環として卵を夏休み中も交代でお世話をし、ふ化した子ガメを放流するなどの活動を行っています。

議員

住民の方との関わりは、どうですか。

企画調整課長

野菜や柑橘類、加工品などを販売する出品者と購買者との地産地消の関わりの方を考えております。地域住民の方々に親しみを持ってご利用いただける体制を構築したいと考えております。

議員

地域で眠って店頭に並ばな

い、少し加工を加えることで美味しいというのを見つけていく。物を作るのではなく、そういう開発が出来る人材を育てることが大事な課題だと思っています。防災機能についてお伺いをいたします。

企画調整課長

紀伊半島大水害時には、自衛隊の後方支援拠点として利用した経緯もあり、非常に重要だと認識しております。防災拠点としての機能整備には、水害、地震、津波など災害時の広域支援、後方支援の拠点として、今後、ヘリポートや資材倉庫等の防災拠点機能の整備を国土交通省と協議・検討を進めています。

議員

スタッフのいない夜間の対応の想定はいかがですか。

企画調整課長

あくまでも案ですが、防災タワーを駐車場の上に設けるといったことも今後検討等していく必要があると考えております。食料、水等の提供のマニュアルは指定管理者と共に、検討したいと思えます。

議員

防災拠点として駐車場拡張についてどのようにお考えで

すか。

企画調整課長

隣接の国や県の管理する用地を含め、関係機関と協議を継続し、粘り強く交渉したいと考えております。

議員

地域コミュニティの拠点、情報発信、教育、防災、観光お弁当箱に入りきらないくらい魅力的な機能を企画提案し要望していくのがいいと思います。何が有り、何が足りないのか、今一度道の駅の機能を整理して、行政がしっかりとタイアップして、後の世代に繋ぐ立派な施設にしたいです。

情報モラル教育

議員

情報モラル教育の現状をお伺いいたします。

教育課長

町内すべての小中学校におきまして、三重県教育委員会や三重県児童相談セン

ター等の外部講師を招聘しまして、情報モラルに関する講習会等を開催しております。スマートフォンやインターネットの正しい安全な使い方について研修を行っています。

議員

三重県教育委員会のネット啓発リーダーをさせて頂いております。小中学校において取り組みがばらばらです。年間何回も話をしたい、グループワークをして欲しいところもあれば、1回もない学校もあります。そういうばらつきは良くないと思います。年間行事、カリキュラムの関係で日程が合わない事情があると思いますがある程度指導していただき、統一していただけたらいいと思いますが、いかがでしょうか。

教育課長

小中学校で情報モラルに関する指導を行っています。統一した取り組みを進めていきたいと考えております。

議員

実際にトラブルの時に、教育委員会でのような対応

応するのをお伺いします。

教育課長

学校管理下における危機管理マニュアルを町内各所、小中学校に配布し、対応の参考にするよう指導しています。日々の学校生活のなかで、トラブル等も確かにあります。教育委員会では迅速に連絡をいただくなかで、そのケースによって対応を進めています。

議員

川崎市の事件では表面化した時にはすごいことになっていました。あの事件で周りの多くの大人が救ってやれなかったと悔しい思いをしたと思います。最悪の結果に至らないように、教育委員会は出せる情報はどんどん出して、協力を求め、情報を外に出さずに握りこんでしまうような状況がないようにしていただきたいと思っています。



空き家対策



浅田 和江 議員

・空き家対策について

議員

紀宝町の空き家の現状はどのようなになっているのでしょうか。

企画調整課長

平成25年5月に「紀宝町空き家バンク制度施行に伴う空き家物件調査」を実施しており、紀宝町内に空き家を持っていると回答のあった方は200名

で、調査で回答をいただいていない方、町内在住で、空き家をお持ちの方もおられることから、町内の空き家件数は、相当数あると推測しております。

議員

町内では、調査結果から200軒以上の空き家があるということでしたが、現在、倒壊などの危険があり、早急に撤去などの対策を取る必要がある家は、どれくらいあるのでしょうか。

企画調整課長

空き家バンク制度は、マッチングをメインにする制度事業ですので、空き家が町内にどれだけあるのかという調査はまだしてございません。

議員

現在、制度が運営されていない状況で、町の方に移住や物件取得に関して、問い合わせ等はあったのでしょうか。あったとすれば、それは移住や物件の取得につながったのでしょうか。

企画調整課長

移住の問い合わせは、この一年間で10件程度ございました。移住の問い合わせや相談があった場合は、親身に相談

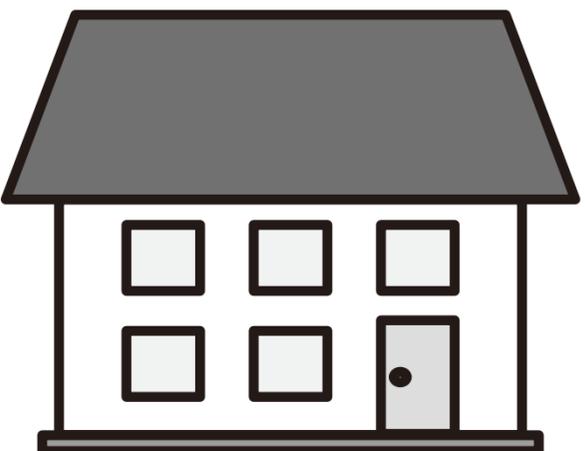
にのり、対処してまいりたいと考えております。27年度から空き家バンク事業を行っていくといくことで、4月以降ご連絡いただければご紹介できるよう対応してまいります。

議員

4月から運用開始ということで、物件の登録数など、どのような状況になっていきますか。

企画調整課長

「紀宝町空き家バンク制度施行に伴う空き家物件調査」で、86名の方が賃貸・売買の意思があると回答をいただき、この86名の方などを対象に、物件の構造や階数、改修の必要の有無など、詳細なアンケート調査を再度実施しました。合計46名の方から、賃貸や売買両方の意思あり、賃貸のみまたは売買のみ意思ありの回答をいただいております。この46名の方を対象に、立ち会いをいただき、家屋の写真撮影や間取り図の作成等を行い、登録台帳の整備を行っています。本日現在、10件のみ処理を終えています。引き続き、登録台帳等の整備作業を続けてまいります。



た、紀宝町空き家バンク事業実施要綱の制定及び宅建協会、不動産協会との協定締結を早急に行い、平成27年度4月より紀宝町空き家バンク事業を運用できるよう、進めてまいります。

議員

空き家バンク運用後の情報発信について伺います。

企画調整課長

情報発信につきましては、紀宝町のホームページや町広報紙、宅建協会や不動産協会、道の駅や公共施設等で、周知してまいりたいと考えて

おります。その他、三重の移住・交流ナビ「JOIN」への掲載など、いろんな場所での物件を探されている方に情報を発信できるよう努めてまいります。また、三重県主催の、移住・交流に伴う、県と市町の地域づくり連携・協働協議会検討会議も開催されており

ますので、他の市町の取り組みも参考に、より良い情報発信を心がけてまいりたいと考えております。

議員

情報発信の方法として、観音寺市では希望者を募って、

議員

情報発信の方法として、観音寺市では希望者を募って、

空き家見学ツアーを実施しているそうです。このツアーでは空き家物件を見るだけでなく、地域の魅力と合わせて伝えていくということですが、紀宝町では、魅力の発信に関してはどのようにお考えでしょうか。

企画調整課長

町の魅力発信ですが、いきいき協議会、三反帆、熊野川体感塾、井田観音、平尾井の薬師とか、観光とセットになつてしまうかもしれません。が、他所から来ていただいた方に紹介できるような取組みを行ってまいりたいと考えております。

議員

移住される方への改修費等の補助に関して、多くの空き家バンク制度では、費用負担を軽減するような方向性を出しています。紀宝町でも広報していく予定でしょうか。

企画調整課長

町外に居住するものが、町内の空き家を改修し、移住する場合、その経費の一部に補助を行っていくことも考えているところで、紹介できるものはホームページ等で情報発信してまいりたいと考えてお



向井 健雅 議員

・農業政策について
・百年に一度の大事業である
新宮紀宝道路（近畿自動車
道紀勢線）について

農業政策

議員

従事者も担い手も無いなかで、行政としていろんな事業、補助事業を細々とやっている。維持していく為には、農家の方の、発想の転換が必要。現状維持か、経営上、成り立つような攻めの農業か。ほとんどの方は、環境保全や、持っているから仕方なくが現状と思います。

産業基盤整備担当理事

高齢化や後継者不足、耕作

は、そこに示されたルート案、現在の新宮紀宝道路のルートですが。そのルートに賛成、そう思う、ややそう思うと回答した方が住民で82・9%、1218人。企業、各種団体で80%、136企業等多数を占めました。

議員

100%満足を得られる事業はないと思っており、不満足である部分について、真摯に受け止め、手立てを考えなければと思っています。議会としても、今のルートに対して、一日でも早く完成できるように努力してまいりたい。

町長

プロジェクトチームをつくって、町民の皆様方のご意見、ご要望に対応できる体制をとっていききたいと思っております。

議員

代替地確保は、どういうふうに進めていくのか。

企画調整課長

安心して移転していただけるよう努めてまいりたいと考えております。その他の課題につきましても、町でできることは町でしっかり対応し、国にもしっかりと要望していき

放棄地の増加等により5、10

年後の展望が描けない集落地域が全国的に多数存在しており、紀宝町でも同様です。地域農業の活性化を推進するため、農地集積や新規就農・経営継承、地域の組織化、法人化などが考えられます。農村環境維持・保全に関しては、農業者個人では限界があり、当町では、農業者が集落内で組織を作り、共同による農地維持保全を行う際に、補助金が支払われる多面的機能支払を実施しています。この制度を活用して、大里、高岡、田代パイロットの3組織が活動を開始しています。

議員

組織化が今後、益々必要になってくる。環境保全、農業維持も無理になってくる。是非、お願いします。

新宮紀宝道路

議員

新宮紀宝道路近畿自動車道紀勢線は、百年に一度の大事業であるという位置付けの認

たいと考えております。今後、住民の皆様のご意見を拝聴し、新宮紀宝道路がよりよいものとなりますよう、全力で取り組んでまいりたいと考えております。

議員

この事業を第2のバイパスにしないように、一日でも早い完成を我々としても頑張っていきたいと思えます。



萩野 進也 議員

・地域経済の活性化、紀宝町の
の商工業の活性化について

地域経済の活性化

企画調整課長

識でいいのか、町長の見解を再度確認したい。このことは町長が合併後の選挙公約に河口大橋の建設ということが入っていたと思います。

町長

熊野川の河口大橋、新宮紀宝道路と今いわれておりますが、私も約10年前の町長選挙で、最大の課題として、紀宝バイパスの早期完成と熊野川河口大橋の8年後の実現を公約に掲げて選挙戦を戦わせていただきました。河口大橋を造ろうという機運は平成14年度から、新宮市に海岸道路の建設を促進する会、鶴殿村に、架橋虹の会が発足。さらに両議会、商工団体、老人クラブ、地域団体等、いろんな団体の皆様方がご参加をされて、熊野川河口に橋を架ける会が、平成16年に発足をし、

それ以降、要望、陳情等を重ねて、念願の事業化が平成25年5月に決まったということ。将来50年60年先、子どもや孫達にこの地域の社会基盤整備をしっかりとし、消滅自治体と呼ばれていくなかで、いかに生き延びていくか。そのための社会資本整備が大事だと思っています。百

議員

地域経済の活性化、すなわち紀宝町の商工業の活性化を図る上において、商工業者の育成そして振興に取り組んでいかなければなりません。企業を規模別に分類すると、大企業、中小企業そして小規模零細企業に分類されます。

【小規模零細企業】いい方を

変えれば『小規模事業者』といわれますが、その事業規模は、製造業・建設業は従業員が20人以下、小売業・サービス業は5人以下の事業所を言います。紀宝町の商工業の現況は、商工業者数424事業所、そのうち小規模事業者数414事業所、実に98%を占めます。ちなみに、中小企業と言われる企業は、従業員数が製造業・建設業で300人以下、小売業で50人以下を言います。地域経済が活力あるものになっていくためには、小規模事業者がより活力を増していかなければなりません。地域経済を考えるうえで、商工業をぬきにして考えることが出来ません。そこで、紀宝町の商工業施策についてお尋ねします。

年に一度になるかどうか分かりませんが、今後も鋭意取り組みを進めてまいりたいと思っております。

議員

私もこの2年間、議会議長という立場で町の団体の総会等で、大事な大事業であると訴えてまいりました。重要なポイントは18年、合併後、西田町政によって、紀宝バイパスの解決があったこと。このことなくして今回の事業成立はなかった。合併した平成18年前後から事業化決定までの重要なポイントを、再度確認します。

町長

河口に橋を架ける会ができたら、要望活動行い、町民、市民の皆様方、多くの皆さん方に、ご参加をいただいで、決起大会も盛大に開催ができ、非常に大きな力を発揮したと思っております。その後、町議会、また町民の皆様方の支援をいただき、バイパスの完成に合わせて、熊野川河口大橋が決まってきたと思っております。また町民の皆さん方が力を結集しての思いが熊野川河口大橋、新宮紀宝道路の建設に繋がっていったと

紀宝町の商工業の施策、推進等につきましては、商業関連といたしましては、平成23年4月に町内の事業所を中心として組織する紀宝町商業活性化委員会を紀宝町商工会と役場が事務局機能を持つて立ち上げ、紀宝町の商業活性化施策について議論し、そのかたちとして平成24年12月に「紀の宝みなと市」を毎月第3土曜日に鶴殿港で開催することや、道の駅ウミガメ公園内に紀宝町の観光情報等を発信することで、町中への誘客を目的とした看板を設置するなど、取り組みを行っております。また平成27年度の中小企業庁による創業・第二創業補助金の受給時に必要となる産業競争力強化法に基づく、創業支援事業計画の作成や、創業希望者等の相談を紀宝町商工会と連携して行っているところがございます。工業関連では、井内工業団地につきましましては、企業誘致に取り組んでおるところでございます。その結果、平成24年4月には、特定非営利活動法人として様に進出いただき、この度、パナソニックエレクトロニクス ショーンズ電材三重株式会社

思います。

議員

時系列に再度確認します。

企画調整課長

新宮市の海岸道路の建設を促進する会が住民など、3960人の署名を集め、平成14年12月16日に新宮市長に。鶴殿村では、架橋虹の会が、住民など3102人の署名を集め平成15年11月18日に商工会、鶴殿村長、鶴殿村議会議長、地元県議会議員ら20人が三重県知事に、署名を手渡し、熊野川河口部への架橋について要望をしております。議会においては、新宮市、鶴殿村の両議会で平成16年1月20日河口大橋建設促進議員連盟が発足されました。また平成16年3月16日に新宮市の海岸道路の建設を促進する会と、鶴殿村の架橋虹の会が、熊野川河口に橋を架ける会を設立しました。アンケートですが、熊野川下流地域の道路の現状や、課題、新たな道路に対する考えなど、和歌山県と三重県が共同して、平成20年12月26日から実施し、住民1629世帯、179の企業、15の団体の方から回答をいただき、ルートについて

様に新たに進出の意思を表明いただき、将来的には多くの雇用も望めるものと期待している状況にあります。国が定める地方創生関連のまち・ひと・しごと創生総合戦略、または今後策定していきます紀宝町版の総合戦略には、地方における安定した雇用を創出することも目標の一つとしております。紀宝町の商工業の振興につきまして、今後もしっかりと取り組んでまいりたいと考えております。

議員

商工業においては町内唯一の経済団体である商工会があるところですが、密な連携をとって進めているということで、これからもそのような方向で宜しくお願い致します。次に今、三重県南部地域においては、高速道路の延伸、紀宝町においては、紀宝バイパスの開通等により観光客の増加といったプラス面はありますが、買い物客が流失するというマイナス面も見られます。さらに、昨年4月の消費税が5%↓8%へアップしたことにより、買い控えが目立ち、その状況は一年たつた今も変わらない状況にあり

議会だより

第33号

平成27年6月1日発行



新議員による初の定例会開催

議会日誌

平成27年1月～3月

1月 31日	紀南環境衛生施設事務組合汚泥再生処理センター建設工事安全祈願祭・起工式（新宮市）	3月 4日	環境保全対策特別委員会 災害復興対策特別委員会 近畿自動車道紀勢線調査特別委員会
2月 10日	議員懇談会	11日	深田屋内遊戯施設竣工式 近畿自動車道紀勢線調査特別委員会
17日	第1回臨時会 議会運営委員会 総務産業常任委員会 教育民生常任委員会	15日	自衛隊入隊入校予定者激励会（津市）
19日	三重県町村議会議長会理事会（津市）	16日	第1回定例会・第2日目 議会運営委員会
22日	社協つれもてまつり	17日	第1回定例会・第3日目
24日	紀南環境衛生施設事務組合定例会（新宮市） 教育民生常任委員会	18日	第1回定例会・第4日目
25日	議会運営委員会 三重県後期高齢者医療広域連合議会定例会（津市）	19日	第1回定例会・第5日目 近畿自動車道紀勢線建設特別委員会 地方創生まちづくり特別委員会
27日	自治創造塾（津市）	23日	波静橋開通式 災害復興対策特別委員会
3月 1日	中能登町町制施行10周年記念式典（中能登町）	25日	東紀州農業共済事務組合全員協議会定例会（熊野市） 災害復興対策特別委員会
3日	鶴殿老人憩の家「讀寿荘」竣工式 全員協議会	27日	紀南介護保険広域連合定例会（熊野市）
4日	第1回定例会（第1日目） 議会運営委員会 熊野川流域対策特別委員会 港湾・井田海岸浸食対策特別委員会	30日	紀南病院組合議会定例会（御浜町） 南牟婁清掃施設組合議会定例会（御浜町） 紀南社会福祉施設組合議会定例会他（御浜町）

次回定例会の予定

6月16日（火）開会予定です。
傍聴は議会議務局で受付ています。

議会生中継について

公共施設5ヶ所のロビー等において、町議会本会議の様を生中継していますので、議会日程をご確認のうえ、ぜひご覧ください。

- ① 役場本庁舎
 - ② 生涯学習センターまなびの郷
 - ③ 福祉センター（鶴殿）
 - ④ 保健センター（神内）
 - ⑤ 相野谷診療所
- ※放映時間については、当該施設開館時間内となりますので、ご了承ください。

インターネット録画中継について

町議会では開かれた議会を目指して、平成23年6月定例会分からインターネットによる録画中継を実施しております。映像をご覧頂くには、
◎紀宝町ホームページ「町議会情報」↓
「インターネット議会中継」をクリック

可決された議案（3月）

- 教育長の任命同意
 - ・ 西章さんの任命に同意しました。
- 教育委員会委員の任命同意
 - ・ 柳澤進さんの任命に同意しました。
- 地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定（条例の制定 他3件）
- 紀宝町職員の給与に関する条例の一部改正（一部改正 他8件）
- 平成26年度一般会計補正予算（3件）
- 平成26年度特別会計補正予算（5件）
- 平成27年度一般会計当初予算
- 平成27年度特別会計当初予算（6会計）
- 紀宝町各集会所等の指定管理者の指定（20箇所）
- 辺地に係る公共的施設の総合整備計画の変更
- 紀宝町道路路線廃止
- 紀宝町道路路線認定
- 財産の処分
- 近畿自動車道紀勢線建設特別委員会設置に関する決議
- 地方創生まちづくり特別委員会設置に関する決議

意見書（3月）

- 合併特例債の適用期間の再延長を求める意見書

編集後記

2月1日に町議会選挙が行われ、13名の議員が選出されました。今年には地方創生元年として、我が紀宝町も人口減少問題の克服に向けて、総合戦略を策定していかねばならない。議会では、地方創生まちづくり特別委員会が全会一致で可決され、紀宝町にあったビジョンを示していかなければならない。NHK大河ドラマ『花燃ゆ』の中に出てくる吉田松陰の言葉でいうと「夢なき者に理想なし、理想なき者に計画なし、計画なき者に実行なし、実行なき者に成功なし。故に、夢なき者に成功なし。」夢を将来ビジョンと置き換えた時、紀宝町のあるべき姿をしっかりと示していかなければ成功につながっていかないと考えます。

来年の1月には町政10周年。河口大橋の事業化も決まり、紀宝町は新たなステージへ移っていくこととなります。

（文責 榎本）

「議会だより」(第33号)

編集委員
榎本 健治
平野 美津子
向井 健雅